

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2015年4月18日）

2015年度の初の定期便が晴天の下、出発しました。本日の参加者は、市民22名、学生14名、教員2名の38名でした。大変ありがたいことに、震災から4年の時間が経過したにもかかわらず、初参加者が学生12名、市民6名、教員1名の19名もいらっしゃいました。大変心強い年度初めの活動となりました。

移動中の車中では、参加者全員の自己紹介と学生事務局が作成したDVDの上映、教員事務局からの今までの活動経緯や注意事項、本日の活動内容に関する説明が行われました。そして、活動班と担当者の振り分けが行われました。以下の活動報告書はそれぞれの班の担当者が作成したものです。



○ 野田中学校仮設集会所活動報告（教員事務局・野口先生）

【津軽三味線演奏会】

弘前大学の津軽三味線サークル5名による演奏会だったが、弘前市民の方々も途中から演奏に合わせて踊り出し、来場者全員からも手拍子をいただくようになり、一体感がある演奏会となり大いに盛り上がった。

終了後は来場者の方々からアンコールの声が出るなど、5名の学生のパフォーマンスは本

当に素晴らしかった。

【茶話会】

ボランティア初参加のキムさんの手作り韓国料理によって、茶話会の雰囲気はもの凄く和んだように思われる。ボランティア活動において、心を込めた料理を提供するということの重要性を知った。

来場者と市民ボランティアの方々の世代が近いということから、フレンドリーな雰囲気がつくり出されていたと思う。改めて市民ボランティアの存在の大きさを感じた。

初参加の新入生2名も、子どもとの交流や、お茶汲みなどの裏方仕事をしっかりこなしてくれていた。

○ 野田村・南浜コミュニティセンター活動報告（学生事務局・徳武さん）

南浜コミュニティセンターでは、茶話会と、弘前大学津軽三味線サークルの皆さんによる演奏会が行われました。午前中はお菓子を囲みながら、それぞれの話に花を咲かせました。12時近くになると、津軽三味線サークルの皆さんがセンターに到着しました。予定では13時に開演ということでしたが、野田村の皆さんが早い時間から大変心待ちにしてくださっていたということもあり、急遽12時と13時の二回に分けて行わせていただきました。津軽三味線の音に合わせて歌ったり踊ったりと、全員参加のとても楽しく和やかな演奏会となりました。また、91歳になられる方もいらっしゃって、力強い歌声をセンター中に響かせてくださいました。その場にいた全員で拍手喝采でした。笑い声の絶えない、温かい雰囲気の一日となりました。



津軽三味線の音に合わせて踊る弘前市民と学生の皆さん



茶話会の様子

○ 中学生学習支援活動報告（学生事務局・垣内さん）

今回の「中学生向け学習支援ボランティア」は、学生3名（僕と弘前大学院生2名）で行いました。10時半頃に総合センターに到着したところ、総合センターの受付窓口には誰も居らず、活動場所である2階児童室の鍵もかかっている状態でした。そこで、センターを訪れた方（センターの関係者で、部屋の鍵を返しにきた、とのこと）に事情を話したところ、野田村社会福祉協議会のほうに連絡をとってくださいました。その後、連絡を受けた社協の方がいらして、児童室の鍵を開けてくださいました。その社協の方のお話によると、「中学生は部活動があるため、午前中は恐らく来ないだろう」とのことでした。実際にその通りとなってしまう、12時50分頃ようやく野田中1年生の男子が、母親とその姉に連れられてやって来ました。そこで、その子が持ってきた教科書やワークを元に、一緒に考えながら練習問題を解き進めました。最初は緊張した様子でしたが、時間が経つにつれて表情が柔らかくなり、お互いに楽しそうに笑いながら学習会を行うことが出来ました。

一方、児童クラブのほうは13時から先生がいらっしゃってオープンし、13時30分頃に最初の小学生が来ました。児童クラブの先生によると、小学校の授業参観に伴い、会社を休んでそのままお子さんを連れて帰る親御さんが多いため、児童クラブに来る子供は少ないのでは？とのことでした。結局、私たちがいる間に5人来ました。が、「津軽三味線に触れられる良い機会だったのだから、もう少し人数を集められれば良かったね」と、少し残念がっていた様子でした。

今回は参加人数が少なく、もう少し魅力的な広報（中学生が友達を誘って行きたいと思えるような）が出来れば良かったのでは、と感じました。その一方で、津軽三味線サークルさ

んによる演奏と演奏体験は子供たちに大変喜んでもらえた様子で、こうしたサークルさんによる活動参加は今後も続けていったほうがよい、と強く感じました。



○ 桜の植樹活動

桜の植樹活動は、市民からいただいた桜の苗木 50 本を、野田中学校の裏側にあるチーム北リアスの現地事務所の周辺に植える活動となりました。市民と学生を合わせて 10 名の方が参加しました。現地に到着すると、チーム北リアスの現地事務所長である貫牛さんとチーム北リアスの共同代表である京都大学の永田先生が迎えてくれました。すでに、植樹の場所には支えとなる支柱が準備されていました。最初は、苗木を提供してくださった近藤さんから注意事項と植樹方法に関する説明がありました。その後、二人一組で植樹を開始しました。植樹経験が豊富な市民参加者が多く、手際よく苗木を植えてきました。1 時間程度で植樹を終え、記念写真を行いました。20 年後みんなで花見することを夢見ながら現地事務所をあ



とにして、中学校の茶話会に交流しました。

帰りのバスの感想では、「参加した方のパワーに感動しました。」「充実した一日を送る事ができ、学生の皆さんとも交流が出来ました。」「皆で踊ったり歌ったりと大変和やかで温かい茶話会になりました」などの声がありました。震災から4年と時間が経過したことを感じさせない元気いっぱいの定期便でした。これからも継続して皆さんの元気を届けたいと思います。ありがとうございました。

(担当：李永俊)